

庁議の概要

開催日 平成 21 年 2 月 9 日 (月)

項 目

1 各部局等の動向について【各部局等】

内 容

1 各部局等の動向について【各部局等】

政策企画部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布のうえ、各部局等より概要説明があり、意見交換を行った。

【主な意見】

〔知事〕

- ・ 産業振興計画の最終取りまとめに向けて、予算編成過程でいろいろな知恵が出てきていると思う。それは、全て産業振興計画の筋に沿って作られた新しい知恵だと思う。中間取りまとめから最終取りまとめへの違いとは何なのかということ、予算編成を通じて物事を具体化していく。さらに、場合によっては練り上げていく。そういうことで最終取りまとめをより具体的なものにしていく、実効性のあるものにしていくという説明を今までにも対外的にもしてきている。
- ・ 県庁、公務員の組織というものが、最も知恵が爆発する時期というのは予算編成期だと思う。この予算編成の時期に新たに出てきた案が、産業振興計画の案に沿っておれば、できるだけ最終取りまとめに盛り込むようにしてもらいたい。
- ・ 例えば、産業技術部で人材育成も従来の 10 倍ぐらいのスピードで対応してもらおうことになった。それから、商工労働部の輸出促進や産業人材の育成などについても抜本的に体制を強化したので、これらについて、是非、最終取りまとめに向けて盛り込んでもらいたい。
- ・ この他、福祉産業の育成ということを掲げているが、具体策は何かという質問をよく受ける。フレキシブル支援センターなどを盛り込んでいってもらいたい。また、これはタマ出しで使えるということがあれば、早めに提案してもらいたい。他の部局でも盛り込めると思うものは、積極的に盛り込んでいってもらいたい。
- ・ それから、ワーディングの問題、高知県産業振興計画というワーディングについて、いろいろな批判もある。同じことを書くにしても、できるだけ魅力的なワーディングを使ってもらおうように工夫してもらいたい。ただ、行き過ぎて当事者が全くわけが分からないということは駄目で、一般の県民に伝わっていくようなかたちで工夫してもらいたい。
- ・ 全部局に関わることだが、9 月議会、12 月議会にかけて、いろいろな新しい物事に取り組んできている。結果として、この 2 月議会に最終的な回答をするという事項がたくさんあると思う。中間的に委員会が開かれている所もあろうかと思う。例えば、観光部は 2 月 6 日に、観光拠点の話があったと思うが、今度の当初予算の段階では、先に延ばすということできないので、この段階で諸疑問に対して、答え切っていかなければならない。他の部局も、2 月議会に向けて、いろいろな回答事項の詰めを徹底して行ってもらいたい。